習近平政権の課題（JST　配布用）

2013 年 11 月 13 日

美根慶樹

1　経済成長を維持できるか

(成長の鈍化)　2002 年 9.1%　2007 年 14.2　2011 年 9.2　2012 年 7.8
(構造問題)
資本と労働の投下への依存度が高く、生産性の向上が弱い。
(マクロ・コントロール)
経済成長とともに通貨供給量が増大し、物価が上昇。
(市場経済化)
市場経済化は道半ば。政府の関与が強すぎる。
(金融制度改革)
外資のさらなる導入、金利、為替の自由化が必要。
シャドー・バンキング問題。
(不動産問題)
地方政府にとっておいしい収入源。
村民から絞り上げ。
(税制改革)
「分税制」で潤うのは中央財政。地方の歳入は激減。手直しが必要。
(労働力)

2　政治・社会問題

最大の問題は民主化　困難

政府の権限が強すぎる。非能率の政府（整風の必要性）

地方との関係

社会不安
　市民デモ
　農民の反抗
　10/28 日事件　大同事件
　少数民族問題
　格差
　特権層・官僚主義　太子党　裸官

5 階層論（楊継縄）第 1 が 1200 万、第 2（高級知識人　中堅幹部）が 2500 万
戸籍問題　都市で働く 2.6 億人の農民工は搾取されている。

3　革命の重要性
薄熙来裁判
社会階層⇔革命思想
80 年代と似ている？
文化大革命から改革開放⇔改革開放から革命性の重視
改革開放のなかでのブルジョワ自由化反対⇔経済成長のなかでの毛思想の再評価
大様な態度⇔方針を明確にせよ　指導者としてバランスが必要
「革命の 30 年、改革開放の 30 年」「毛思想がなければ天下は大乱」

4　習近平政権の取り組み
政治体制改革
整風？
大衆路線？
腐敗取り締まりの強化　最大のセールスポイント

高度経済成長は必要　七難を隠す

「中国の夢」
諸問題はあるが夢がある　未来志向
ナショナリズムは今後も重要な統治手段

5　習近平政権の強面
言論統制の強化
思想工作・意識形態
9 号文件　7 つの不講
メディア規制
ネット「悪用」の取り締まり　投獄も辞さず

民主化はしない

公安　武装警察　「城管」